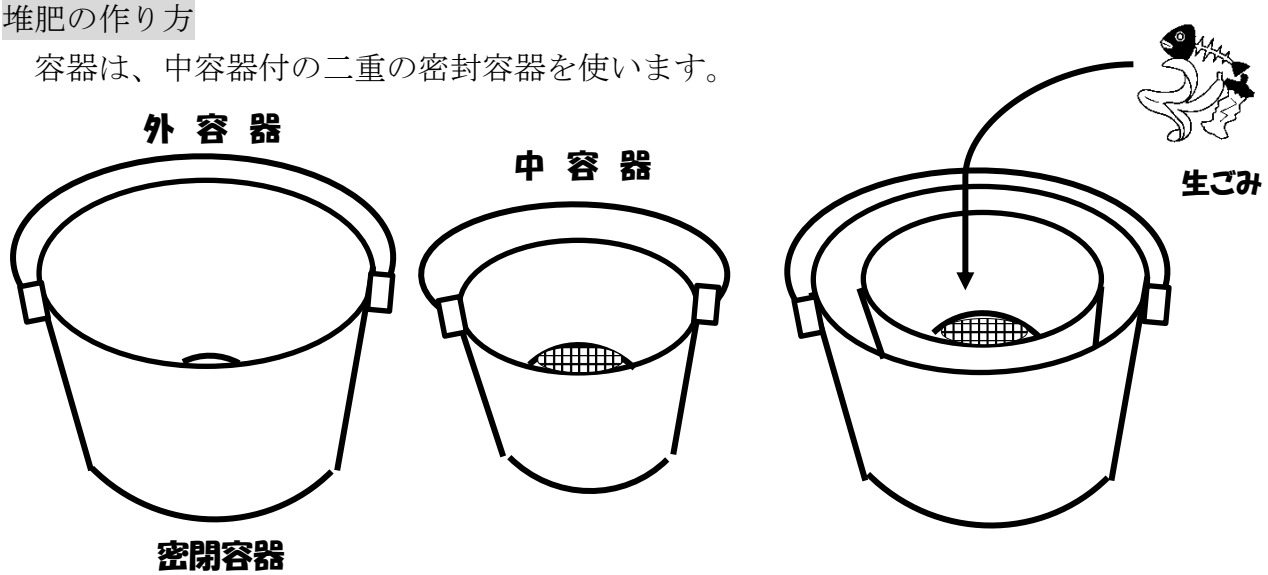
EM ぼかしを使った生ごみ堆肥の作り方

「ぼかし」とは、「米ぬか」と「籾がら」と「微生物溶液」を混ぜ合わせ、発酵させて作ります。発酵したら天日干しで乾燥させて出来上がりです。

堆肥の作り方

容器は、中容器付の二重の密封容器を使います。



○中容器に新聞紙を敷き、底面へぼかしを入れます。その後、生ごみを入れ、ぼかしを生ごみ全体に振りかけます。

○目安として、生ごみ１Kg（三角コーナーの生ごみ）に対して「ぼかし」10ｇ～20ｇ（一つかみ）程度です。

○生ごみ、ぼかし、生ごみ、ぼかし…と容器いっぱいになるまでサンドイッチ状にいれて、その都度蓋をしっかりします。

○途中、容器の底に液が溜まりますが、中容器を取り出し、液を水道水で２倍くらいに薄めて、流しから流します。配管がきれいになります。

○容器がいっぱいになったら蓋をして、直射日光の当たらない所に一週間くらい放置して寝かせます。

○嫌気性の微生物が生ごみに繁殖します。

○上に白カビができて、甘い匂いがしてきたら完成です。

○畑の土を畝に掘って生ごみを入れ、上から土を７～８ｃｍくらい平らにかけておきます。

○好気性の微生物と光合成微生物が繁殖します。

○７～１０日間くらい置いてから、土を耕して作物を植えます。

※容器の中では、生ごみの形は変わりませんし、減量もしませんのでご承知ください。